

山田桂華 桂華 劇作家。明治十四年生れ、四十一年没（一八八一—一九〇九）。
京都『白出新聞』社会部長を経て、『國民新聞』記者となる。明治四十
年『都新聞』の懸賞脚本に応募し、『豊八公醍醐花見宴』の一作が普選。
翌年歌舞伎座で「醍醐の花見」と改題上演せられた。のち『中央新聞』
に轉籍。

著書 『日本畫の將來』（編、明治二十七年九月）『京都・山田桂華
堂』、『脚大農』附豊八公醍醐花見宴『地獄』（佐野天聲・神前子合著、明治
四十年七月）『都新聞社』、金尾文淵堂發賣（等）。